

日本陸上競技連盟からのお知らせ

目次

■活動報告

第96回理事会報告

2025年1月15日(水)にJAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE会議室にて第96回理事会をWEB会議併用で開催致しました。

2024(令和6)年度 日本陸上競技連盟 全国競技運営責任者会議

2025年2月15日(土)に2024年度全国競技運営責任者会議を味の素ナショナルトレーニングセンターにて開催いたしました。

2024年度全国自転車計測員会議等報告

2024年11月2日(土)に都道府県陸協から推薦された自転車計測員候補者に対して自転車計測技術の向上と課題に対する意見交換を目的に2年に1度の全国自転車計測員会議を、Webシステムを用いてリモート開催いたしました。

日本陸上競技連盟 2024年度 全国医務部長会議開催報告

2025年1月25日(土)に日本陸上競技連盟全国医務部長会議をオンラインにて開催いたしました。

■大会観戦ガイド

第49回全日本競歩能美大会

第109回日本陸上競技選手権大会・35km競歩

兼 東京2025世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

第19回日本学生20km競歩選手権大会

兼 FISUワールドユニバーシティゲームズ(ドイツ/ライン・ルール) 日本代表選手選考競技会
Asian 20km Race Walking Championships in NOMI 2025

第109回日本陸上競技選手権大会・10000m

兼 東京2025世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

兼 クミ2025アジア陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

第27回長野マラソン

■事務局からのお知らせ

日本陸連公式ファンクラブ「RIKUJO ファンクラブ」開設のお知らせ

陸連時報掲載終了のお知らせ

information

- ・個人情報の共同利用について

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16577/>



- ・WRK対象競技会／広告規程について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>



- ・陸上競技場、長距離競走路の認定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/shisetsu/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2024年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16334/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2025年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17671/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2026年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21242/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2027年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21243/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2028年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21244/>



- ・アンチドーピング／鉄剤注射の防止

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>



第96回理事会報告

1. 開催日時

2025年1月15日（水）13時31分～15時06分

2. 会場

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階 日本陸上競技連盟事務局内会議室 ※WEB会議併用

3. 理事総数及び出席理事数

理事総数30名 出席理事数21名

監事総数3名 出席監事数3名

4. 議長の氏名 尾縣 貢

5. 議題

第1号議題 第109回日本陸上競技選手権大会 申込資格

第2号議題 第109回日本陸上競技選手権大会・混成競技 申込資格

第3号議題 第109回日本陸上競技選手権大会・10000m 申込資格

第4号議題 第109回日本陸上競技選手権大会・リレー競技 申込資格

第5号議題 第81回（2027年／宮崎）・第82回（2028年／長野）国民スポーツ大会 実施種目

第6号議題 栄章規程の改定

6. 議事の経過の要領及びその結果

(1) 冒頭で議長が、WEB会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、開会を宣した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果

第1号議題 第109回日本陸上競技選手権大会 申込資格

鈴木事務局長より第109回日本陸上競技選手権大会の申込資格について資料に基づき説明があった。男子5000mは国際競技会と同様に予選を行うという趣旨で、ターゲットナンバーを設定しない。

審議の結果、出席理事全員一致で提案内容を可決した。

第2号議題 第109回日本陸上競技選手権大会・混成競技 申込資格

鈴木事務局長より第109回日本陸上競技選手権大会・混成競技の申込資格について資料に基づき説明があった。

審議の結果、出席理事全員一致で提案内容を可決した。

第3号議題 第109回日本陸上競技選手権大会・10000m 申込資格

鈴木事務局長より第109回日本陸上競技選手権大会・10000mの申込資格について資料に基づき説明があった。男女ともに1組30名での決勝を行う。

審議の結果、出席理事全員一致で提案内容を可決した。

第4号議題 第109回日本陸上競技選手権大会・リレー競技 申込資格

鈴木事務局長より第109回日本陸上競技選手権大会・リレー競技の申込資格について資料に基づき説明があった。全ての地区の地域選手権大会が終わる前の開催となるため、第109回大会においては例年申込資格の一つとなっている地域選手権大会の枠はない。

審議の結果、出席理事全員一致で提案内容を可決した。

第5号議題 第81回（2027年／宮崎）・第82回（2028年／長野）国民スポーツ大会 実施種目

山崎常務理事・強化委員長より第81回（2027年／宮崎）・第82回（2028年／長野）国民スポーツ大会の実施種目について資料に基づき説明があった。少年種目は育成に配慮して実施種目を設定している。成年種目は開催都道府県の意向を尊重している。成年少年共通男女混合4×100mリレーは、東京2020オリンピックの対策として2022年から実施していたが、戦術も見えてきたため2027年・2028年の実施種目からは除外した。

審議の結果、出席理事全員一致で提案内容を可決した。

第6号議題 栄章規程の改定

田崎専務理事より栄章規程の改定について資料に基づき説明があった。栄章については、これまでのご功績をたたえ敬意を表するものであると同時に、陸上発展に向けて本連盟として大切にしていける価値観・メッセージでもあると考え、見直しを行った。

審議の結果、出席理事全員一致で提案内容を可決した。

▼栄章規程 主な改定の概要（施行日：2025年4月1日）

変更前	変更後	特記事項
功労章	秩父宮章	○秩父宮殿下のご遺徳を偲び最高の名誉として創設された秩父宮章に一本化。 ○スポーツ団体ガバナンスコードにある適正な組織運営の妨げにならないよう推薦基準から役職及び年数を削除。
秩父宮章		
高校優秀指導者章	高校優秀コーチ章	○選手の競技成績を上げた指導者のみならず、指導者養成指針で示している指導者像を推薦基準として明記。 ○コーチ資格取得者が受章対象となるため名称を一部改定。
中学優秀指導者章	中学優秀コーチ章	

2024(令和6)年度 日本陸上競技連盟 全国競技運営責任者会議 議事録

2025年2月15日(土) 13:00~17:10

於：味の素ナショナルトレーニングセンター
あいさつ(田崎専務理事)

2025年は3月8日に創立100歳を迎え、9月には東京で世界陸上を開催する大切な節目。この100年は、競技会の歴史であり皆様の努力の歴史である。

日本の競技会運営は、海外からの模範として現在のWAスタンダードの基礎となってきた。しかしながら取り巻く状況は、担い手の不足や人件費の問題への対応など喫緊の課題が山積みの状況でもある。

激変する環境変化に対応していくためには、諸制度の見直し先端技術の活用や柔軟な競技運営による省力化が必要。世界基準をベースに日本基準の良さを加え、世界トップのクオリティーを実現していく必要がある。

そのためには大胆に発送を切り替え、スピード感をもって変革していかなければならない。明日に繋がる、繋げる議論を、皆さんと一緒に進めていきたい。

2025年度競技規則修改正提案(片岡裕委員)

- ・CR34.46：競歩競技の日本記録要件 JRWJ 1名をJRWJ 3名に変更。
- ・CR34.10：日本記録の記号について、2024年1月以降に出た記録については(W)：WRk競技会で出された日本記録、(J)：非WRk大会で出された日本記録と表記する。
- ・TR11.4 [国内]：上位大会進出するため追加試技を行った際の記録の扱いについて明記。
- ・TR26.9.5 [国内]：上位大会出場枠決定のための試技方法(高さの競技)について明確化。
- ・TR32.1 [国内]：WRk競技会使用する投てき物について、考え方を再整理。

競技用靴についての補足(浅田事務局員)

厚さの計測についてWAは、一覧表にある靴に関して競技役員に計測は求めている。シューズを確認する場合は、本人確認→シューズリストの確認→(必要があれば)シューズの写真撮影→問題がなければ終了。世界記録等が出た場合は、シューズを回収し、WAへ送付する。シューズリストについては、WAのHPを参照。

施設用器具委員会報告(高木施設用器具委員長)

資料に基づき、①2025年度施設用器具委員会関係に関わる競技会規則の修改正について、②競技会への派遣について、③競技会での注意事項についての報告が行われた。

WRk大会について(浅田事務局員)

浅田事務局員より、資料に基づきWRk大会開催にあたって必要な事項について説明がなされた。

ブロンズレフェリーについて(青柳幹事)

ブロンズレフェリー、ブロンズ競歩審判員試験結果報告および今後の予定について説明が行われた。

スタートについて(関委員)

不正スタートの検出について、動画を用いた事例紹介が行われた。

アナウンスについて(片岡典幹事)

競技会におけるアナウンス内容や気をつけることなどについて、資料に基づき説明がなされた。

分科会1

競技会公認申請(鍋島委員)

2025年度の競技会公認申請手順について、説明が行われた。

記録公認申請・日本記録(村上委員)

記録公認申請および日本記録申請の手順について、説明が行われた。

上位大会出場決定の方法について(岩協委員)

2025年度から記録の有効性についての国内ルールを追加、施行するとの説明が行われた。

公認記録申請先の変更について(岩協委員)

陸上競技マガジンとの契約が終了するため、公認競技会申請サイトへ移行し、電子申請のみに変更する等の説明が行われた。

広告展示物規則PT(田中委員)

2025年度における広告展示物規則の改正点、[国内]『アスリートビブス上の商標』について、説明が行われた。

分科会2

S級昇格審査報告(青柳幹事)

S級昇格審査の実施報告と申請にあたっての注意点について説明が行われた。

審判ハンドブックPT(関委員)

最新ハンドブックの原稿校正中の報告と一部改正について口頭での紹介が行われた。

審判育成・研修PT(赤峰委員)

WAと日本の審判制度の違いについての説明およびこの件に関するアンケート実施について説明が行われた。

2024年度JTO活動報告(青柳幹事)

JTO派遣競技会の中から、いくつかの事例報告が行われた。

海外競技会報告(関根副委員長)

関根副委員長より、海外競技会報告が行われた。

2025年世界陸上について(鈴木委員長)

2025年世界陸上について、現在の準備状況や今後の検討課題などの説明が行われた。

審判員のコンプライアンス研修について(事務局：三宅課長)

セーフガーディングに関するe-ラーニング受講について、説明が行われた。

あいさつ(鈴木委員長)

5年ぶりの対面開催を行ったが、来年も予算を確保し対面の参加人数を増やして行いたい。ここで得たことを地元でしっかりと伝えてほしい。これからも運営にご協力ください。



2024年度全国自転車計測員会議等報告

都道府県陸協から推薦された自転車計測員候補者に対して自転車計測技術の向上と課題に対する意見交換を目的に2年に1度の全国自転車計測員会議を開催した。

全国自転車計測員会議の全日程を出席ののち次年度から2年間自転車計測員として委嘱を予定している。

●全国自転車計測員新規事前研修会議

全国自転車計測員会議に先立ち新規・2期目の自転車計測員候補者に対し、自転車計測の基本的な事項について事前研修会議を開催した。

日時：2024年11月2日（土）11：00～16：20

場所：Webシステムを用いてリモート開催

出席者：新規11名、2期14名、3期以上の希望者2名
計27名が出席

進行：塚野幹事

1. 開会の言葉 苅込副委員長
2. 挨拶 高木委員長
3. 自転車計測員について 高木委員長

自転車計測員としての心構えや役割について説明を行い、長距離競走路のコース認定の歴史についての解説を

行った。

4. 自転車によるコース計測の基本（1）苅込副委員長
日本記録として承認される種目や公認コースの条件・計測の手順など自転車計測の基本的な知識と正確な計測をするための計測前日まで準備、計測手順などの説明を行った。

5. 検定メジャーの基礎知識（1） 米岡幹事

検定メジャーの性質や温度補正・恒差について実例を交えて説明した。

6. 自転車によるコース計測の基本（2） 苅込副委員長
演習問題を解きながら計測時に行う計算を行った。検定後提出する報告書について説明を行った。

7. 質疑応答

8. 閉会の言葉 高木委員長



●全国自転車計測員実技研修会

自転車計測技術の向上を目的とし全国5会場に分かれて実技研修を行った。

各会場にて検定メジャーを用い、カリブレーションコースの作成方法・ジョーンズカウンターの自転車への取り付け方・カウンターの見かたやコース上の計測実技を行った。また、計測員の用意しておくもの、計測を行った後の計算方法等を座学にて研修をした。

・徳島会場（鳴門・大塚スポーツパークボカリスエット
スタジアム周辺道路）10/26実施 参加15名

・北上会場（北上陸上競技場と周辺道路）11/09実施
参加16名

・福岡会場（今津運動公園と周辺道路）11/16実施
参加16名

・東海会場（庄内緑地公園と公園周辺）12/07実施
参加19名

・横浜会場（日産スタジアムと外周）1/13実施
参加17名

5会場合計83名が参加。



●全国自転車計測員会議

日時：2025年02月11日（火・祝）9：30～15：00

場所：Webシステムを用いてリモート開催

出席者：83名

進行 米岡幹事

1. 開会の言葉 福島副委員長

2. 挨拶 田崎専務理事、高木委員長

3. 自転車計測について 高木委員長

長距離競走路・競歩路の検定の概要、自転車計測員の委嘱、役割、心構え、検定の手続きについての説明を行った。

4. 自転車計測の注意事項 福島副委員長

事前調査の内容、ポイント図・高低図及び経路図の作成など計測での注意事項の説明を行った。

5. 実測距離計算の演習問題 塚野幹事

会議の前に出題されていた演習問題の解説を行う。その際間違えやすい点や計算の注意点の説明を行った。

6. 実測報告書の作成 苅込副委員長

長距離競走路実測調査報告書作成手順の解説や留意点、計算間違えや書き間違えなどの注意点の説明を行った。また、計測時の事故の対応、課題について意見交換を行った。

7. 国際道路コース計測員について 福島副委員長

国際道路コース計測員の役割、国際道路コース計測員への昇格、大会派遣報告書の作成についての説明を行った。

8. 質疑応答

9. 修了書授与 渡辺技術役員（東京）に代表で修了証を授与

10. 閉会の言葉 苅込副委員長

1	2・2・1	・近畿地区自転車レース（近畿地区自転車協会） ・ジュニアグランプリ（国主、山崎） ・アジア自転車選手権（山崎）
2	4・1・3	・全国ロードレース選手権（山崎） ・全国自転車選手権（山崎）
3	9・2・3	・日本選手権（山崎） ・日本選手権（山崎） ・全国自転車選手権（山崎）
4	6・2・4	・全国自転車選手権（山崎） ・全国自転車選手権（山崎）
5	3・2・4	・全国自転車選手権（山崎） ・全国自転車選手権（山崎）
6	1・1・3・2・3	・全国自転車選手権（山崎） ・全国自転車選手権（山崎） ・全国自転車選手権（山崎）
7	3・2・4	・全国自転車選手権（山崎） ・全国自転車選手権（山崎）
8	7・2・1	・全国自転車選手権（山崎） ・全国自転車選手権（山崎）
9	4・1・3	・全国自転車選手権（山崎） ・全国自転車選手権（山崎）
10	4・1・3・2・3	・全国自転車選手権（山崎） ・全国自転車選手権（山崎） ・全国自転車選手権（山崎）



日本陸上競技連盟 2024年度 全国医務部長会議開催報告

日本陸上競技連盟 医事委員会

2025年1月25日に日本陸上競技連盟全国医務部長会議がオンラインで開催された。真鍋知宏医事委員長体制になってから2度目の会議となった。はじめに真鍋医事委員長より開会の挨拶があり、引き続いて2024年夏に開催されたパリ五輪の帯同報告が鎌田副委員長より行われた。メディカルスタッフは医師2名（JOC派遣1名、日本陸連派遣1名）、トレーナー3名（JOC派遣2名、日本陸連派遣1名）であった。事前合宿地はフランス・セルジーであった。セルジーの環境は非常によく、練習会場までもアクセスがよかった。日本陸連からスポーツ栄養部の栄養士と調理スタッフも帯同し、選手には日本食が提供され、十分な栄養サポートが行われていた。競技開始が近くなるとパリの選手村に移動することになるが、選手各自の競技スケジュールに合わせることが可能であったため、選手の居場所把握を一覧表で管理した。競技会場のスタンドは多くの観客で盛り上がっていた。JOC本部ドクターの協力も得ながら選手村内のポリクリニックを利用する場面もあったが、幸いにも大きなケガや体調不良は発生しなかった。大会前から大会中を通じて、選手のコンディションを管理するアプリを利用していた。選手が摂取している薬剤やサプリメントに関して、医事アンチ・ドーピング部所属のスポーツファーマシストにアンチ・ドーピングの観点からチェックしてもらった。また、渡航前の準備段階に、スポーツ栄養部より現地の食事や水に関する情報が、山本副委員長より時差調整に関する情報が選手達に提供されていた。なお、報道で話題となっていたパリ選手村部屋内のエアコン問題については、大会開始頃は気温が比較的高かったが、陸上競技が始まる後半には気温が下がっていたので、そんなに気にならなかった

とのことであった。

次に、国民スポーツ大会陸上競技における医療救護体制に関する議論が行われた。まず、2024年の開催県である佐賀陸協 諸江一男医事委員長より、開催にあたっての準備段階での苦労話、実際の準備方法、大会における人材確保や大会当日の医療救護体制、実際の医療救護事例などが紹介された。その後、2025年の開催県である滋賀陸協事務局に準備状況などの確認を行った。

続いて、事前アンケートに基づいて各都道府県陸協における医事組織の設置状況に関する議論を行った。数県には医事組織がなく、その背景や今後に向けての取り組みを発表してもらった。医事組織同様に、トレーナー活動、栄養士活動の場についても議論された。

次に鎌田医事副委員長より、2024年度から開始した陸上競技に興味のある若手ドクターを育成するための組織として医事アンチ・ドーピング部の下に設置した「陸上競技ドクター協議会」の活動状況が報告された。次年度以降も活動を継続していく予定である。

引き続いて、山本副委員長よりアンチ・ドーピングに関する最新情報が提供された。昨今、陸上競技において外国籍選手の違反事例が複数発生したことに対する対応策なども紹介された。

最後に、真鍋医事委員長より、2025年9月に東京で開催される世界選手権（世界陸上）の医療救護体制に関する準備状況が紹介され、閉会となった。オンラインの開催にもかかわらず、議論対象となる話題が多く、さまざまな意見が交わされて、充実した会議となった。

大会観戦ガイド

第49回全日本競歩能美大会

第109回日本陸上競技選手権大会・35km競歩
兼 東京2025世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

第19回日本学生20km競歩選手権大会

兼 FISUワールドユニバーシティゲームズ (ドイツ/ライン・ルール) 日本代表選手選考競技会 Asian 20km Race Walking Championships in NOMI 2025

▼期日：2025年3月16日（日）

▼コース：日本陸上競技連盟公認 能美市営コース（往復 1.0km）

▼種目／スタート：【全日本能美】

男子 20kmW／11：40、女子 20kmW／11：41

高校男子 10kmW／10：35、高校女子 5kmW／13：50

中学男子 3kmW、中学女子 3kmW／13：51

【日本選手権】男子 35kmW、女子 35kmW／8：00

【アジア選手権】

男子 20kmW／11：40、女子 20kmW／11：41

【学生選手権】

男子 20kmW／11：40、女子 20kmW／11：41

※WA ウォーキングツアープロンズ：男子 20kmW・35kmW／女子 20kmW・女子 35kmW（高校男子 10km、女子 5km は WRk 対象競技会）

▼問合せ先：

〈運営本部〉〒929-0113 石川県能美市大成町ヌ118番地 能美市役所根上分室 教育委員会まなび文化スポーツ課内 大会実行委員会事務局

TEL：0761-58-2272 / FAX：0761-55-8555

〈日本陸連〉〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 JSOS9F TEL：050-1746-8410

E-mail：jpn-racewalk@jaaf.or.jp

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1917/>



写真：フォート・キシモト

第109回日本陸上競技選手権大会・10000m 兼 東京2025世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

兼 クミ2025アジア陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

▼期日：2025年4月12日（土）

▼場所：えがお健康スタジアム（熊本）

▼アクセス：JR 鹿児島本線 熊本駅下車 タクシーで45分／バスで50分

JR 豊肥線 光の森駅下車 タクシーで5～10分

▼種目・競技時間：

女子 10000m 19：30 スタート（予定）

男子 10000m 20：10 スタート（予定）

▼問合せ先：〈日本陸連〉TEL：050-1746-8410（土・日祝日を除く 10：00～18：00）

【お問い合わせフォーム】

<https://forms.gle/ZTihRUteGc4Vu1fa7>

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1931/>



写真：フォート・キシモト

第27回長野マラソン

▼日時：2025年4月20日（日）午前8時30分スタート

▼コース：長野マラソン長距離競走路（日本陸連公認、AIMS公認）

スタート：長野運動公園（長野市吉田）、フィニッシュ：長野オリンピックスタジアム（長野市篠ノ井東福寺）

▼種目：マラソン（42.195km）

▼問合せ先：長野マラソン大会組織委員会事務局

〒380-0928 長野市若里6-6-2 長野市若里分室内

TEL：026-217-2490 土・日・祝日を除く

FAX：026-217-2498

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1933/>

事務局からのお知らせ

◆◆日本陸連公式ファンクラブ「RIKUJOファンクラブ」開設のお知らせ◆◆

2025年2月21日（金）、日本陸上競技連盟は、公式ファンクラブ「RIKUJOファンクラブ」を新たに開設いたしました。RIKUJOファンクラブは、会員限定のチケット先行販売やイベント招待など、陸上競技を愛するファンの皆様により一層陸上競技を楽しみ、体感する機会を提供することを目的としています。



Japan Association of Athletics Federations

RIKUJOファンクラブ



新規会員 募集中!

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/21415/>



◆◆陸連時報 掲載終了のお知らせ◆◆

平素より陸連時報をご愛読いただきましてありがとうございます。

陸連時報は日本陸上競技連盟の機関誌として1954年（昭和29年）1月31日に発刊し、1977年（昭和52年）7月号からは陸上競技マガジンにおいて発行して参りましたが、誠に勝手ながら今号（陸上競技マガジン2025年4月号）をもちまして掲載を終了いたします。

陸上競技マガジンの誌上に陸連時報を掲載するようになり、従来の公報的な内容だけでなく、加盟団体からのニュース、各専門委員会の活動、国内外での陸上競技に関する論文、競技会に関わる情報等を掲載し、アスレティックファミリーの皆さまにも本連盟の考え方や方向性をご理解いただく媒体として親しんでいただきました。

今後は本連盟公式サイト（<https://www.jaaf.or.jp/>）を通じて情報を発信して参ります。引き続き、ご高覧いただければ幸いです。

最後になりますが、長年にわたって「陸連時報」をご支援いただいた皆様に心から御礼申し上げます。

陸連時報編集委員

◇編集委員

尾縣 貢（陸連会長）
有森 裕子（陸連副会長）
風間 明（陸連副会長）
室城 信之（陸連副会長）
田崎 博道（陸連専務理事）
山崎 一彦（陸連強化委員長）
鈴木 英穂（陸連事務局長）
石井 亮（陸上競技マガジン編集長）

◇時報編集室責任者

平野 了
◇時報編集担当
日本陸連 広報

陸連時報編集室

〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
日本陸上競技連盟内
TEL：050-1746-8410
FAX：050-3588-1869